

# 平成31年（令和元年）度 実施事業報告

## 1 振興対策事業

北九州港の整備及び振興に資する事業を行った。

### （1）北九州港港湾調査データ作成業務（通年）

港湾事業者等から提供された申告書を規定フォームへ入力し、統計法に基づく港湾統計データを集計した。（北九州市からの受託事業）

## 2 啓発宣伝活動事業

北九州港開港130周年記念事業をはじめ、年間を通じて様々な啓発宣伝活動を実施した。

### （1）北九州港開港130周年記念事業

北九州港は1889年（明治22年）に門司港が国の特別輸出港に指定されてから、2019年で130周年という節目の年を迎え、時代のニーズに応える港として更なる発展を図るため、様々な記念行事を市と協力して実施した。

当協会は、北九州港開港130周年記念実行委員会の事務局を担当した。

### （2）北九州港セミナー

北九州港のPRと一層の利用促進を目的に、荷主・船社等の北九州港のユーザーを対象に、北九州市及び関係団体との共催で、東京都内においてセミナーを開催した。

■ 時 期 令和元年10月31日

■ 場 所 経団連会館（東京都）

■ 参加者 580人

### （3）海外ポートミッション

海外の港湾施設と活動状況等の調査・研究のため、視察研修を実施した。

■ 時 期 令和元年11月19日～24日 5泊6日（機内泊含む）

■ 場 所 タイ・ベトナム

■ 参加者 38人

#### (4) 記念品の製作・販売及び頒布（通年）

北九州港のPRを促進するため、シンボルマークやマスコットキャラクター「スナQ」をデザインした記念品等を製作・販売し、イベント等で頒布した。

記念品 種類	ポロシャツ、フリース、チャーム、ネクタイ、ハンカチ、缶バッジ、ボールペン、マフラータオル等
-----------	---

#### (5) 歓迎訪船（通年）

初入港船や定期航路開設第一船等を、北九州市と共同で歓迎訪船し、北九州港のPRと国際親善に努めた。

月日	船名	船籍	トン数	船社
04/12	帆船「日本丸」	日本	2,570	独立行政法人 海技教育機構
04/21	アザマラ・クエスト	マルタ	30,277	アザマラ・クラブ・クエスト
04/26	練習船「大成丸」	日本	3,990	独立行政法人 海技教育機構
05/09	シルバー・エクスプローラー	バハマ	6,130	シルバーシー・クルーズ
05/13	シーボーン・リジヤン	バハマ	32,346	シーボーン・クルーズ
05/25	練習船「銀河丸」	日本	6,185	独立行政法人 海技教育機構
07/30	コスタ・ベネチア	イタリア	135,500	コスタ・クルーズ
08/08	練習船「大島丸」	日本	228	大島商船高等専門学校
09/25	セレブリティ・ミニアム	マルタ	90,940	セレブリティ・クルーズ
09/29	コスタ・ネオマンチカ	イタリア	56,769	コスタ・クルーズ
10/25	MSCスプレンドィダ	パナマ	137,936	MSCクルーズ

#### (6) 北九州ポート・アテンダントの活動（通年）

各種式典、セミナー、イベントの司会や歓迎訪船の花束贈呈などを通じて、北九州港をPRした。

■ 活動回数 25回（31人）

#### (7) 北九州港オリエンテーション

港湾業務の基本を学ぶため、会員企業の新入社員等を対象に、港湾や貿易などに関する研修講座と太刀浦コンテナターミナルなどの港湾施設の見学を実施した。

- 時 期 平成31年4月25日、26日
- 場 所 [基礎講座] プレミアホテル門司港  
[視 察] (陸上) 太刀浦コンテナターミナル、倉庫  
旧大連航路上屋  
(海上) 西海岸、砂津・日明地区、戸畑、響灘地区  
ひびきコンテナターミナルなど
- 参加者 167人

#### (8) 港湾整備事業説明会

北九州港整備事業や将来計画等について、海運・港湾企業を対象に、国土交通省九州地方整備局、北九州市が直接説明する事業説明会を開催し、最新の情報及び今後の取組等を情報提供した。

- 時 期 令和元年7月8日
- 場 所 KMMビル 4階 「大会議室」
- 参加者 127人

#### (9) 港湾セミナー

会員企業や市民を対象に、港湾や物流、経済をテーマにしたセミナーを開催した。今年度は、北九州港開港130周年記念特別講演会として開催した。

- 時 期 令和元年11月16日
- 場 所 旧大連航路上屋 2階ホール
- 参加者 180人
- テーマ及び講師「みなとまち北九州、30年後の夢」

一般財団法人みなと総合研究財団 理事長 山縣 宣彦 氏

#### (10) 北九州市からの受託事業

北九州港の役割や海辺の魅力などを市民に周知するため、様々なイベントを通して積極的な情報発信を行った。

##### ①ひびきコンテナターミナルへのクルーズ船寄港時全体管理・運営業務

クルーズ船が寄港する際に以下の業務を行った。

- ・クルーズ船受入れにかかる事前事務及び連絡調整
- ・クルーズ船寄港時の受入対応本部の運営及び連絡調整
- ・クルーズ船寄港時の緊急対応及び連絡調整

月日	船名	船籍	トン数	船社
04/19	コスタ・アトランチカ	イタリア	85,619	コスタ・クルーズ (伊)
07/26	コスタ・セレーナ	イタリア	114,147	コスタ・クルーズ (伊)
07/30	コスタ・ベネチア	イタリア	135,500	コスタ・クルーズ (伊)
09/21	コスタ・ベネチア	イタリア	135,500	コスタ・クルーズ (伊)
09/25	セレブリティミレニアム	マルタ	90,940	セレブリティ・クルーズ (米)
09/27	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	バハマ	168,666	ロイヤルカリビアン・インターナショナル(米)
09/29	コスタ・ネオロマンチカ	イタリア	56,769	コスタ・クルーズ (伊)
10/25	MSCスプレディダ	パナマ	137,936	MSCクルーズ (スイス)
11/09	MSCスプレディダ	パナマ	137,936	MSCクルーズ (スイス)
11/17	コスタ・セレーナ	イタリア	114,261	コスタ・クルーズ (伊)

## ②門司・西海岸へのクルーズ船寄港おもてなし等業務

クルーズ船寄港による港周辺の賑わいづくり及び北九州市の魅力を乗客等へ広くアピールすることを目的に、入出港時に歓迎式典、歓送迎イベントやおもてなしを実施した。

月日	船名	船籍	トン数	船社
04/21	アザマラ・クエスト	マルタ	30,277	アザマラ・クラブ・クエスト (米)
05/05	アザマラ・クエスト	マルタ	30,277	アザマラ・クラブ・クエスト (米)
05/09	シルバー・エクスプローラー	バハマ	6,130	シルバーシー・クルーズ(モナコ)
05/13	シーボーン・ソジャーン	バハマ	32,346	シーボーン・クルーズ (米)
05/29	シルバー・エクスプローラー	バハマ	6,130	シルバーシー・クルーズ(モナコ)
05/30	ル・ソリアル	フランス	10,944	ポナン (仏)
06/03	さるびあ丸	日本	4,973	東海汽船 (日)
06/05	シルバー・エクスプローラー	バハマ	6,130	シルバーシー・クルーズ(モナコ)
08/10	チャイニーズ・タイシャン	リベリア	24,427	渤海クルーズ (中)
08/28	アザマラ・クエスト	マルタ	30,277	アザマラ・クラブ・クエスト (米)

### ③北九州港・みなとまちづくり事業

北九州港の魅力を様々なイベント等を通じて広く市民に周知するとともに、人々が集い、賑わう海辺づくり事業を実施した。

#### ア 船舶公開業務

市民に海や港への理解を深めてもらうため、北九州港(門司区西海岸)に独立行政法人海技教育機構の練習船(帆船)を招聘し、船舶一般公開を行った。

練習船「銀河丸」等を招き、市民に船内を一般公開して、海・港・船について理解を深めた。

#### ■ 時期・行事内容・参加者

令和元年5月24日	入港、表敬訪問	200人
令和元年5月25日	シップスクール、歓迎訪船	34人
令和元年5月26日	一般公開	1,752人
令和元年5月28日	出港・登舷礼	100人

#### ■ 場 所 門司区西海岸

#### イ 寄港記念イベント等業務

北九州港に寄港する独立行政法人海技教育機構の練習船等に対し、寄港記念イベント等を実施して、歓迎の意を表するとともに北九州港をPRした。

#### ■ 事業対象寄港船舶一覧

月 日	船 名	船 籍	トン数	船 社
04/12	帆船「日本丸」	日本	2,570	独立行政法人 海技教育機構
04/26	練習船「大成丸」	日本	3,990	独立行政法人 海技教育機構
04/30	帆船「みらいへ」	日本	230	一般社団法人 グローバル人材育成推進機構
05/24	練習船「銀河丸」	日本	6,185	独立行政法人 海技教育機構
08/08	練習船「大島丸」	日本	228	大島商船高等専門学校
08/31	帆船「日本丸」	日本	2,570	独立行政法人 海技教育機構
10/11	練習船「銀河丸」	日本	6,185	独立行政法人 海技教育機構
11/15	練習船「青雲丸」	日本	5,890	独立行政法人 海技教育機構
10/23	練習船「銀河丸」	日本	6,185	独立行政法人 海技教育機構

ウ 北九州港マスコットキャラクター「スナQ」を活用した広報活動

インターネットを使った情報発信、市内イベントへの着ぐるみ出演及びイラスト等を活用した広報用ツールの作成等により、北九州港のイメージアップを図った。

(11) クルーズ船寄港定着化事業

北九州港へのクルーズ船寄港の定着化を図るため、九州クルーズ振興協議会に加入し、北九州市と共に客船の誘致活動を推進した。

また、下関港と連携した「関門港クルーズ振興協議会」を通じて、関門港に寄港するクルーズ船を利用した旅客等に対する観光資源の情報発信事業等を行い、クルーズ振興を図った。

(12) みなと見学会の実施

①みなと見学会（中止）

子供から大人までの幅広い層の市民を対象に、市民生活を支える物流拠点としての北九州港の役割や港と日常生活とのつながりの深い倉庫の役割を理解してもらうことを目的に、みなと見学会を予定していたが、台風8号の接近に伴い中止となった。

②コンテナターミナル見学会

市民、学校、企業のみなさんに「港」を身近に感じてもらうため、また「港」の役割や私たちの生活に深く関わりのある「物流のしくみ」を知ってもらう機会として、太刀浦コンテナターミナルの施設見学におけるプレゼンテーション及びバスガイド業務を行った。

活動回数及び参加人数 計 13回 延べ 315人

(13) 「海の日」協賛会

「北九州海の日協賛会」の事務局として、海洋海事思想の普及と市民と海・港とを結ぶ各行事を実施した。

主な行事は、関門港ポート天国、海事功労者表彰式典、海の写真展など。

■ 行事一覧

行 事 名	実 施 時 期
船員・港湾作業員慰問	7月 1日～31日
船員留守家族慰問	7月 1日～31日
海上航行安全祈願	7月10日
殉職船員慰霊祭	7月10日
門司・洞海海洋少年団市中パレード	7月14日（門司）、洞海中止
ウォーターフロントクリーンナップ 作戦	7月14日ほか（通年）
関門港ポート天国	7月14日
シーサバイバルトレーニング体験会	7月15日
汽笛吹鳴	7月15日
海の写真展	7月15日～31日
第56回地区中学生海の絵画コンクール	7月15日～31日
式典、海事功労者表彰式	7月17日
海の日歓迎訪船	7月17日
ジュニア・シッピング・ジャーナリスト賞入賞作品展示会	8月11日～8月39日
ミニミニトライアスロン	8月 4日
みなと見学会	中止
船員・港湾作業員入院療養者慰問	中止

(14) 花火大会への協賛

「くきのうみ花火大会」・「関門海峡花火大会」を支援した。

港周辺で開催される関門海峡花火大会に、当協会が管理運営している駐車場を観覧席として提供した。

(15) 海の日・海峡クルージング

「海の日」行事の一環として、大型フェリーによる北九州港及び関門海峡の見学を通じて「みなとのにぎわいづくり」と「海に感謝し港の役割の理解促進を図る」ことを目的とする「関門海峡クルージング」を実施した。

今年は、北九州港開港130周年記念事業として開催した。

■ 時 期 令和元年7月27日

■ 場 所 株名門大洋フェリー「フェリーおおさかⅡ」内

運航コース：新門司—関門橋—巖流島—西山沖—巖流島—関門橋—新門司

■ 参加者 500人

(16) 定期刊行物の発行（通年）

北九州港に関する最新情報とPRのため、会員及び市民に向けて定期刊行物等を発行した。

①機関誌「北九州港」 年1回 1,000部

②北九州港ニュース 年6回(偶数月) (オンライン)

(17) ホームページによる情報提供（通年）

広く北九州港に関する情報発信とPRのため、ホームページを更新管理した。

### 3 港湾関係共益事業

北九州港の船員その他港湾関係者等の交流、福利厚生施設等に関する事業を実施した。

(1) 戸畑船員サービスセンターの管理

海事関係者の利便向上のため、戸畑船員サービスセンターを管理運営した。

(2) 港湾振興協会等事務連絡会

全国の各港湾に共通する港の振興事業に関する諸問題を調査・研究し、相互に情報交換することを目的に、当協会及び横浜、名古屋、博多、神戸、東京、大阪、川崎の各振興協会からなる事務連絡会を設けている。開催は8振興協会の当番制で、当協会が今年度当番となり北九州市で開催した。

■ 時 期 令和元年11月28日～29日

■ 場 所[会 議] JR九州ステーションホテル小倉

[視 察] 北九州港視察、関門海峡ミュージアム等見学

関門汽船「フク丸」乗船等

■ 参加者 20人

■ 参加団体 一般社団法人 横浜港振興協会、名古屋港利用促進協議会、  
一般社団法人 博多港振興協会、一般財団法人 神戸観光局港湾振興部、  
一般社団法人 東京都港湾振興協会、公益社団法人 大阪港振興協会、  
公益社団法人 川崎港振興協会、一般社団法人 北九州港振興協会

(3) 交流サロンの開催

協会役員、会員相互の交流を図るため、企業視察と交流会を開催した。

■ 時 期 令和2年2月12日

■ 視 察 大牟田市（三池港、三池炭鉱宮原坑跡、専用道路敷跡）

■ 懇親会 キリンビアファーム

■ 参加者 29人



#### (4) 国際交流、ビジネス支援事業ほか

国際化に対応する企業人を育成するため、会員企業を対象に海外展開支援セミナーを開催した。(北九州商工会議所と共同事業)

- 時 期 令和2年2月21日
- 場 所 毎日西部会館 9階 「ホール」
- 参加者 21人
- テーマ及び講師

第1部 テーマ：日本と世界のFTA／EPAの動向

講 師：日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部  
国際経済課 山田 広樹 氏

第2部 テーマ：原産地規則の概要」

講 師：門司税関原産地調査官 三輪 義隆 氏

第3部 テーマ：第一種特定原産地証明書の概要（原産地規則、取得手続き）  
について

講 師：日本商工会議所 国際部 主査 龍谷 悠子 氏

#### (5) 新年賀詞交歓会

海運・港運7団体（関門港運協会、小倉地区港運協会、洞海港運協会、八幡港友会、九州水曜会、門司エーゼント会、当協会）の共催で賀詞交歓会を開催した。

- 時 期 令和2年1月14日
- 場 所 ステーションホテル小倉
- 参加者 339人

## 4 港内美化事業

未来へきれいな海、海岸を引き継ぐことを目的に港湾関係団体と共同で清掃活動等を実施した。

#### (1) 「門司港レトロ地区」クリーンアップ運動

海洋土木専門業者「北九州港湾建設協会」主催の海辺のクリーンアップ運動に参加した。

- 時 期 令和元年5月12日
- 場 所 門司港レトロ地区一帯
- 参加者 300人

## (2) ウォーターフロント・クリーンマナーアップ作戦

未来へきれいな海、海岸を引き継いでいくことを目的に、国土交通省九州地方整備局、北九州市、民間と共同で清掃、啓発活動を実施した。

■ 時 期 令和元年7月14日

■ 場 所 門司地区

■ 参加者 95人

## (3) 海の玄関口クリーンアップ活動

北九州市の海の玄関口「新門司フェリーターミナル」がある門司区で、地域・行政・民間企業が連携協力し、清掃活動を行った。

### ・2019夏「新門司地区」海の玄関口クリーンアップ活動

■ 時 期 令和元年7月31日

■ 場 所 新門司フェリーターミナル地区一帯

■ 参加者 450人

### ・2019冬「新門司地区」海の玄関口クリーンアップ活動

■ 時 期 令和元年12月4日

■ 場 所 新門司フェリーターミナル地区一帯

■ 参加者 460人

## 5 その他の事業

### (1) 駐車場事業

当協会の財政基盤の強化を図り、また、海運港湾事業従事者、観光客の利便を確保するため、北九州市用地を借り受け有料駐車場として管理・運営した。

名 称	所在地	収容台数	備 考
新浜駐車場	門司区東港町	25	(一時使用 105 台含む)
西海岸駐車場	門司区西海岸	281	
浅野三丁目駐車場	小倉北区浅野	74	
紫川駐車場	小倉北区浅野	106	
松ヶ島駐車場	八幡東区枝光	20	
妙見駐車場	八幡西区築地町	61	
計		567	